

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称

八本松病院におけるガス焚ボイラーおよびGHPの
電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業

排出削減事業者名：医療法人社団 葵会

排出削減事業共同実施者名：株式会社三井住友銀行

株式会社リサイクルワン

その他関連事業者名：豊国工業株式会社

目次

1 排出削減事業者の情報	2
2 排出削減事業概要	2
2.1 排出削減事業の名称	2
2.2 排出削減事業の目的	2
2.3 温室効果ガス排出量の削減方法	2
2.4 国内クレジット認証要件の確認	2
2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目	2
3 排出削減量の計画	3
3.1 プロジェクト開始日	3
3.2 モニタリング対象期間	3
4 温室効果ガス排出削減量	3
4.1 採用した排出削減方法論の情報	3
4.2 活動量	3
4.2.1 活動量・原単位	3
4.2.2 活動量の採用根拠	3
4.3 事業の範囲(バウンダリー)	3
5 モニタリング対象指標	4
6 モニタリング体制	5
6.2 モニタリング対象指標のQA/QC	5
7 排出削減量の計算	6
7.1 事業実施後排出量	6
7.2 ベースライン排出量	6
7.3 リークエージ排出量	6
7.4 温室効果ガス排出削減量	6
8 省エネルギー量	7

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	医療法人社団 葵会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	八本松病院
住所	広島県東広島市八本松東三丁目9番30号
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	株式会社三井住友銀行
排出削減事業共同実施者名	株式会社リサイクルワン
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	豊国工業株式会社

(注)その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減事業概要

2.1 排出削減事業の名称

排出削減事業の名称:八本松病院 省エネルギー設備導入事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、病院のGHPを高効率のEHPに更新し、エネルギー効率を改善することで、CO2を削減する。また、給湯設備については、高効率電気式給湯機を導入することによって、CO2の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

002:ヒートポンプの導入による熱源機器の更新

004:空調設備の更新

2.4 国内クレジット認証要件の方法

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

排出削減事業計画4項に沿って記載(計画から変更あった場合は、実際の開始日に変更して記載)。

2009 年 9 月 1 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2009 年 9 月 1 日 ~ 2009 年 12 月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
002	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新
004	空調設備の更新

4.2 活動量

適用する排出削減方法論について、活動量を用いている場合に記載する。

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

4.2.1 活動量の採用根拠

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

002: 温水ボイラー、貯湯槽、搬送設備およびシャワー、カランなどの末端機器までの全てを範囲とする。

004: GHP(マルチ型・室内機及び室外機)を範囲とする。

5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.1項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場合) 変更理由
002-1	事業実施後電力使用量	kWh/4ヶ月	46,199 エコキュート給湯機	電力量計による計測	
002-2	更新後のヒートポンプCOP		4.05	カタログ値(エコキュート機)	
002-3	更新前の熱源機器効率	%	77.60%	カタログ値(既設ボイラー)	
002-4	燃料単位発熱量当り炭素排出係数	t-C/GJ	0.01632	デフォルト値より算出	
002-5	電力の炭素排出係数	t-C/kWh	0.0000915	デフォルト値より算出	
004-1	事業実施後電力使用量	kWh/4ヶ月	73,126 空調	電力量計による計測	
004-2	事業実施後のエネルギー単位発熱量	GJ/kWh	0.00881	デフォルト値より算出	
004-3	更新後のヒートポンプCOP		3.63	カタログ値の加重平均(空調)	
004-4	更新前のヒートポンプCOP		2.08	カタログ値の加重平均(空調)	

6 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.2項参照。

6.2 モニタリング対象指標のQA/QC

データの種類	QA/QC手順(該当手順の無い場合、その理由を記載すること)
活動量	
給湯年間電力消費量	(1)ヒートポンプ給湯機の消費電力量データを定期的に記録するロガーを設ける。 (2)院内の担当者が、定期的に記録したデータを電子媒体により取り出し、確認および保管する。
空調年間電力消費量	(1)空調設備の消費電力量データを定期的に記録するロガーを設ける。 (2)院内の担当者が、定期的に記録したデータを電子媒体により取り出し、確認する。
単位発熱量	
単位発熱量	0.00881 GJ/kWh
排出係数	
排出係数	(1)購入電力のCO2排出係数は、都度見直しをかけることとする。

7 排出削減の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入すること。

7.1 事業実施後排出量(2009年9月1日～2009年12月31日)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
$E_{L_{PJ}}$ 46,199 kWh/年 給湯		0.0000915 t-C/kWh	15 t-CO ₂ /年
$E_{L_{PJ}}$ 73,126 kWh/年 空調		0.0000915 t-C/kWh	25 t-CO ₂ /年
$E_{L_{PJ}}$ (トータル)			40 t-CO ₂ /年

7.2 ベースライン排出量(2009年9月1日～2009年12月31日)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
$Q_{fuel, BL}$ 868 GJ/年 給湯		0.01632 t-C/kWh	52 t-CO ₂ /年
$Q_{fuel, BL}$ 1,124 GJ/年 空調		0.01632 t-C/kWh	67 t-CO ₂ /年
EMBL			119 t-CO ₂ /年

7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
LE			

7.4 温室効果ガス排出削減量(2009年9月1日～2009年12月31日)

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	119
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMpj</i>	40
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	79